

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-362602 (P2004-362602A)  
 【公開日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-050  
 【出願番号】特願 2004-216691 (P2004-216691)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 K 19/077

B 4 2 D 15/10

G 0 6 K 19/07

【F I】

G 0 6 K 19/00 K

B 4 2 D 15/10 5 2 1

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 19 日 (2005.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アンテナと、該アンテナに接続されている 2 つの入出力端子を備えた半導体装置と、を有する R F I D タグであって、

前記アンテナと前記 2 つの入出力端子とは金属接合で夫々接合され、

前記入出力端子は前記半導体装置の対角する位置に設けられていることを特徴とする R F I D タグ。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記半導体装置は、もう一方の対角する位置に設けられた 2 つの接続用端子を備えていることを特徴とする R F I D タグ。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記アンテナは接続端子を 2 つ備え、

前記アンテナの 1 つの接続端子と前記半導体装置の隣接する 2 つの端子とが接合されていることを特徴とする R F I D タグ。

【請求項 4】

前記アンテナは高分子フィルムに接着された銅箔からなり、該銅箔上になされた錫メッキとで構成され、

前記半導体装置の前記 2 つの入出力端子には金バンプが形成され、

前記アンテナと前記 2 つの入出力端子とは該アンテナをなす前記銅箔上にメッキされた錫と前記金バンプとの金属接合で接合されていることを特徴とする R F I D タグ。

【請求項 5】

請求項 1 において、

前記半導体装置は、0.5 mm 角以下であることを特徴とする R F I D タグ。